



## スマート PDF の生成

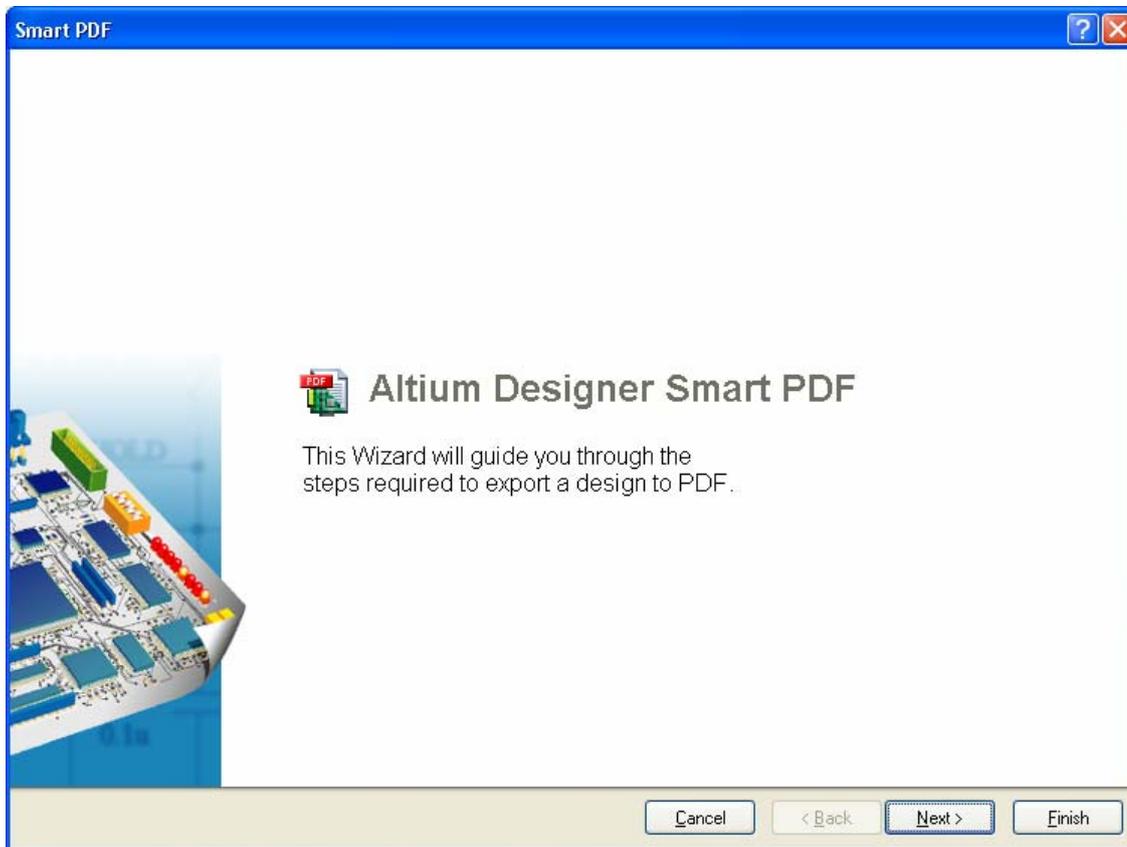
### 概要

Output Generator  
OG0100 (v1.2) May 19, 2008

スマートPDFは、単一のPDFとして、選択されたドキュメントやプロジェクト全体をまとめます。回路図、ならびにBOM(Bill of Material) - も含まれます。デザイン内の各ネットと各コンポーネントがPDFブックマーク(しおり)として作成されます。スマートPDFの設定はOutJobファイルに保存されますので、再度生成するときには、PDFをワンクリックするだけです。

### スマートPDFの構成

メニューから **File** » **Smart PDF** を実行すると、ウィザードが起動します。



デザインをPDFフォーマットで出力するには、*Smart PDF*ウィザードに従って行います。

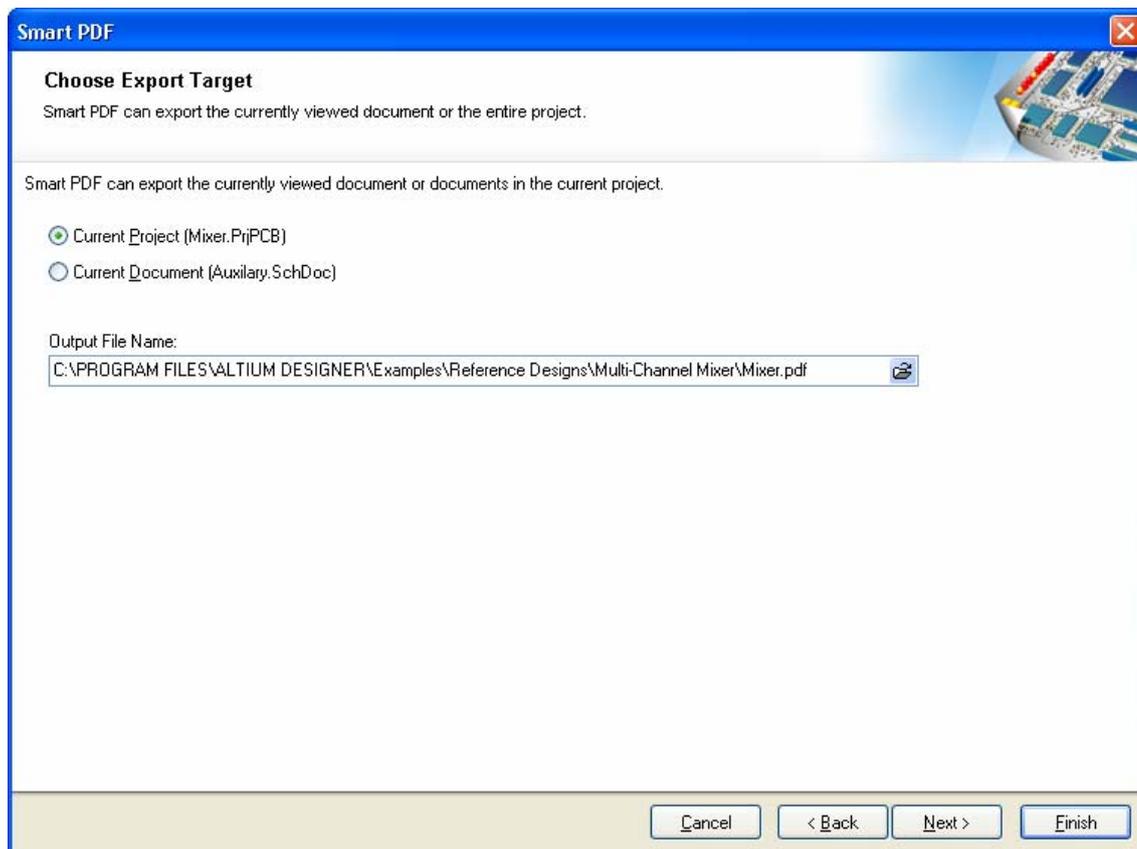
**Next** をクリックすると、ウィザードの次の画面に移ります。

ウィザード内の **Finish** をクリックして、とりあえず既存の設定でPDFを生成してください。すべての設定は、Outputファイル名以外、保持されています。

## エクスポートするターゲットの選択

ウィザードの2ページ目では、何をエクスポートするか、どこにそれを保存するか、を指定することができます。 **Current Project** または **Current Document** を選んで、エクスポートします。現在のプロジェクトのエクスポート選ぶと、さらに詳細なオプションが提示されて、プロジェクト内の選択したドキュメントだけ、または全ドキュメントをウィザードの次のページで選ぶことができます。

さらに、Output ファイル名、そのパス指定、どこに保存するか、を特定します。



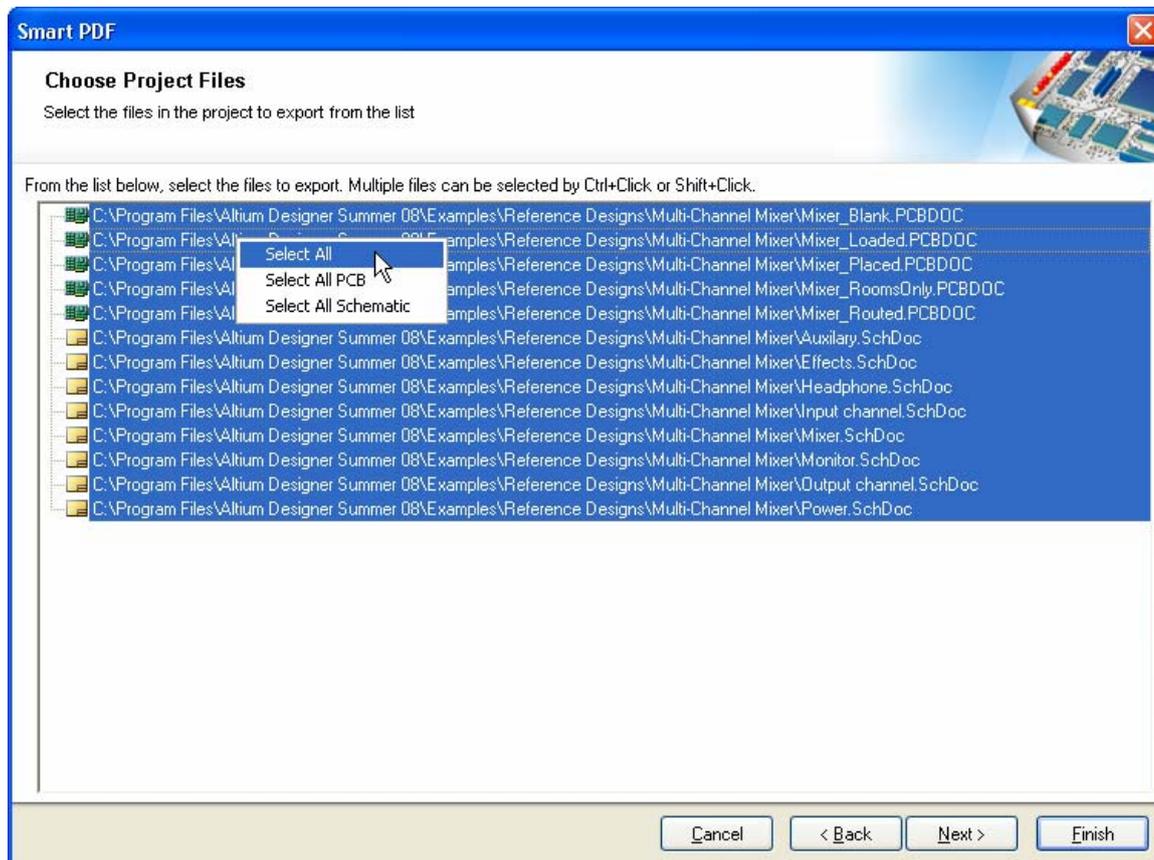
**Back** をクリックすると、ウィザードの前の画面に移ります。

**Next** をクリックすると、ウィザードの次の画面に移ります。

## プロジェクトファイルの選択

**Current Project** のエクスポートを選んだ場合、ウィザードの次のページで、プロジェクトに含まれているどの回路図や PCB ドキュメントをエクスポートするか設定できます。必要なファイルを選択します。標準的なマルチクリック機能をお使いください ( **Ctrl** + click、または、 **Shift** + click)。あるいは、右クリックメニューから用意されているオプションを使用します。

**Current Document** だけのエクスポートを選んだ場合、ウィザードのこのページは表示されません。部品表 (BOM)のページが表示されます。

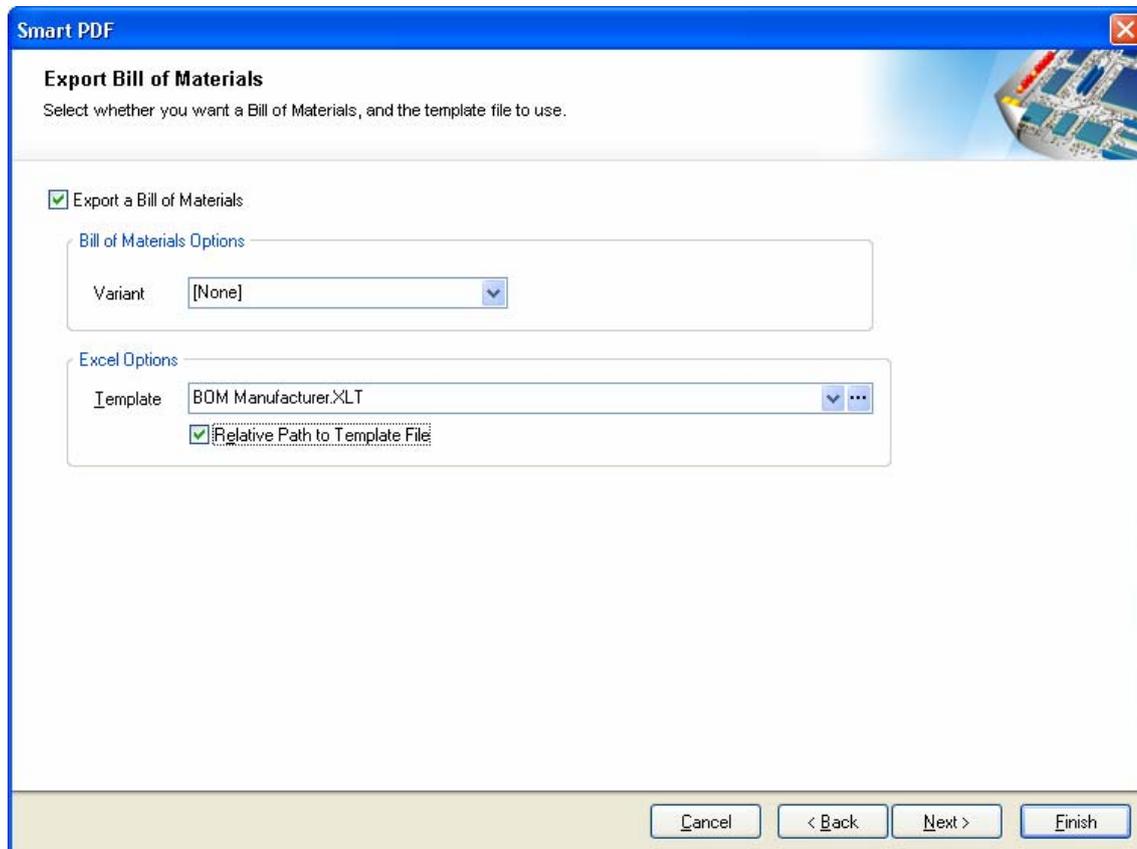


**Back** をクリックすると、ウィザードの前の画面に移ります。

**Next** をクリックすると、ウィザードの次の画面に移ります。

## 部品表のエクスポート

部品表(BOM : Bill of Material)を PDF に含めることができます。 必要に応じて、アセンブリバリエーションやテンプレートを選んでください。



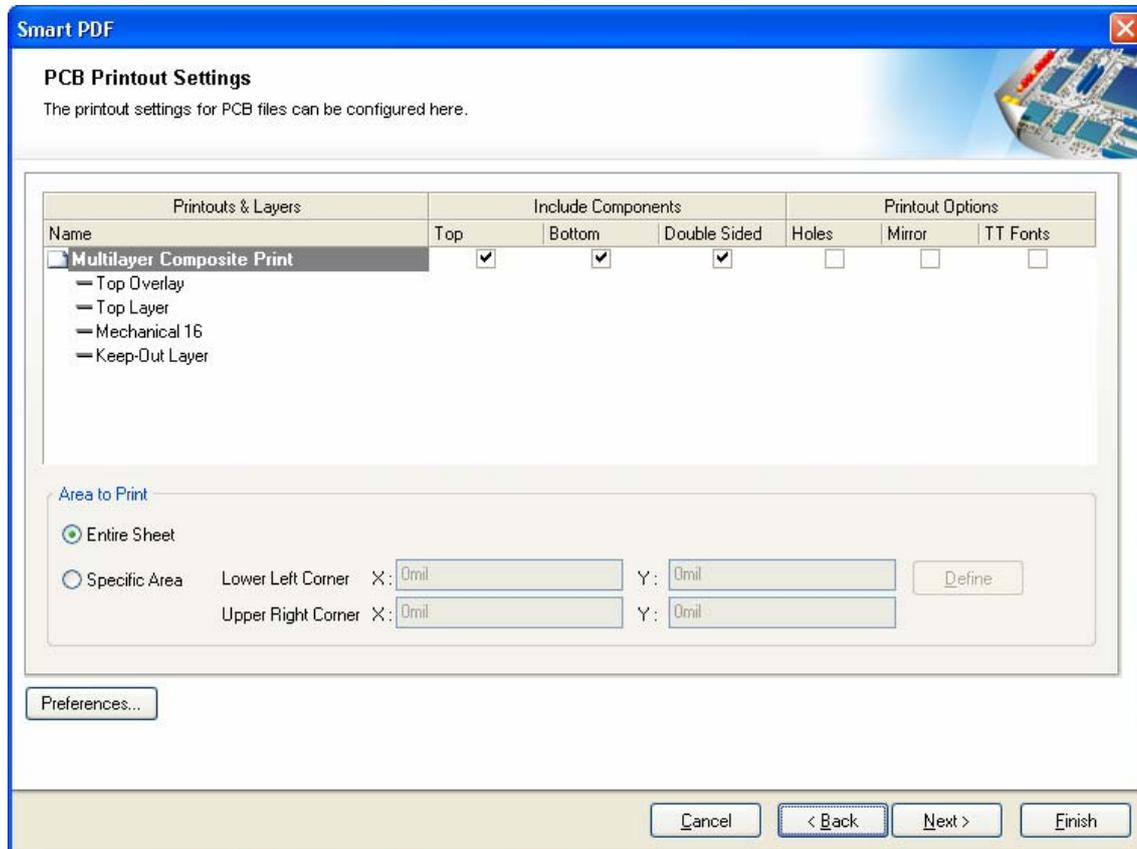
The image shows a software dialog box titled "Smart PDF" with a close button in the top right corner. The main heading is "Export Bill of Materials" with a sub-instruction: "Select whether you want a Bill of Materials, and the template file to use." Below this, there is a checked checkbox labeled "Export a Bill of Materials". Underneath, there are two sections: "Bill of Materials Options" containing a "Variant" dropdown menu currently set to "[None]", and "Excel Options" containing an "Iemplate" dropdown menu set to "BOM Manufacturer.XLT" with a file selection icon to its right, and a checked checkbox labeled "Relative Path to Template File". At the bottom of the dialog, there are four buttons: "Cancel", "< Back", "Next >", and "Finish".

**Back** をクリックすると、ウィザードの前の画面に移ります。

**Next** をクリックすると、ウィザードの次の画面に移ります。

## PCB Printout の設定

PCBドキュメントのエクスポートを選んだ場合、**PCB Printout Settings**がウィザードに表示されます。レイヤ上の右クリックで、そのレイヤの **Preferences** と **Properties** を設定できます。出力したいエリアを指定します。シート全体、または、特定領域がえらべます。PCBドキュメントの出力についての詳細は、[OG0105 印刷用出力オプション](#)を参照してください。



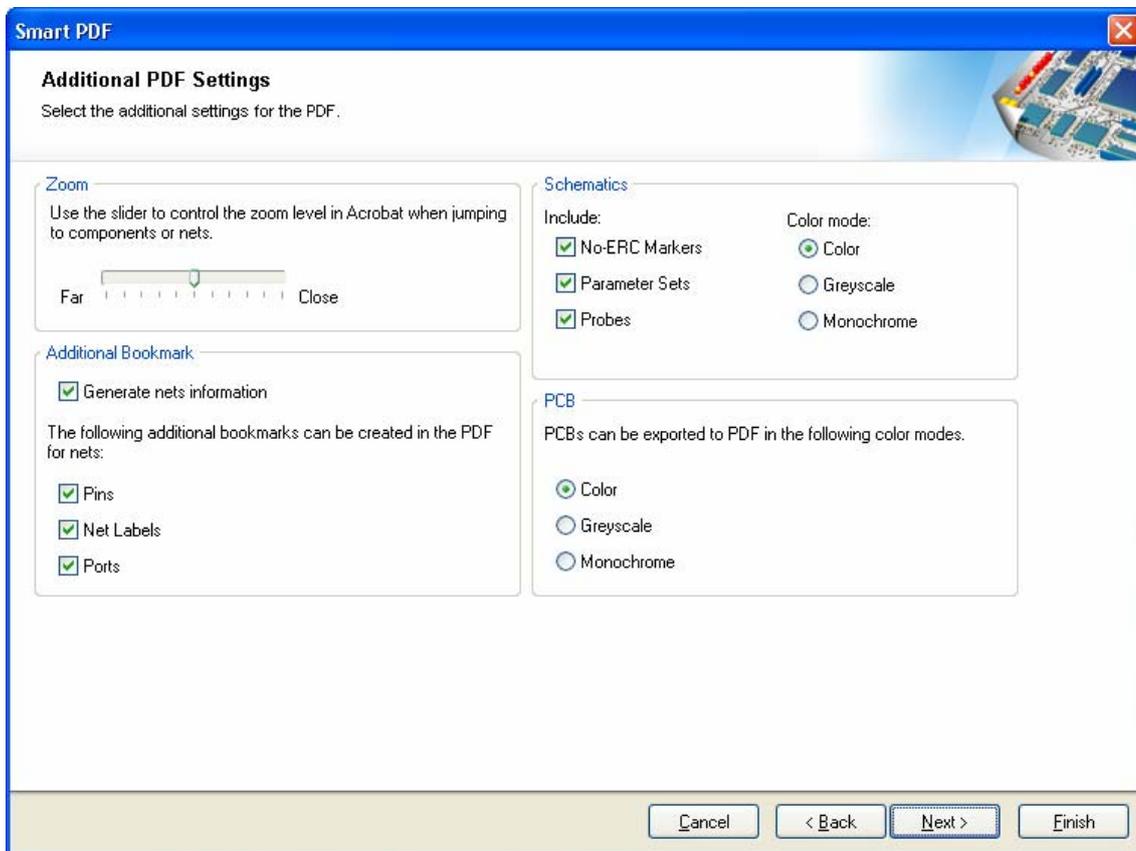
**Back** をクリックすると、ウィザードの前の画面に移ります。

**Next** をクリックすると、ウィザードの次の画面に移ります。

## その他のPDF設定

スマートPDFウィザードには、さらにいくつかのエクスポートオプションが用意されています：

- **Zoom** – スライダーバーで PDF 内のズームレベルをコントロールします。コンポーネントやネットを見るときに使用します。
- **Additional Bookmark options** – PDF 内にネット情報を作成するか、しないか、選べます。このオプションを有効にすると、ピン用、ネットラベル用、ポート用の追加的なブックマークが作成できます。
- **No ERC Markers** – 回路図シートのエクスポートに、No ERC の指示マーカを含めるかどうか選べます。
- **Parameter Sets** – 回路図シートのエクスポートに、パラメータセットのオブジェクトを含めるかどうか選べます。
- **Probes** – 回路図シートのエクスポートに、プローブオブジェクトを含めるかどうか選べます。
- **Schematic Color Mode** – 回路図シートのエクスポートに、色を指定できます。Color (カラー)、Grayscale (グレースケール)、Monochrome (モノクロ) のいずれかを指定。
- **PCB Color Mode** – PCB 出力のエクスポートに、色を指定できます。Color (カラー)、Grayscale (グレースケール)、Monochrome (モノクロ) のいずれかを指定。



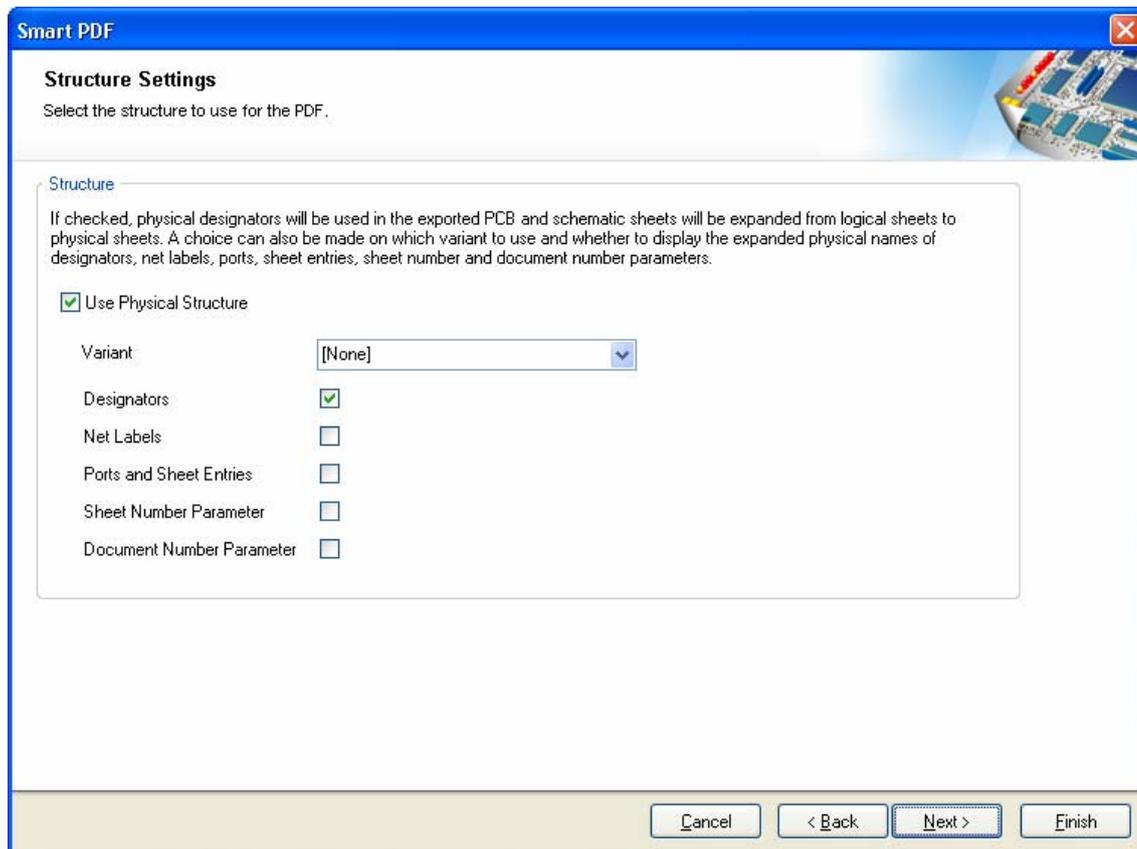
**Back** をクリックすると、ウィザードの前の画面に移ります。

**Next** をクリックすると、ウィザードの次の画面に移ります。

## 構造の設定

**Use Physical Structure** フラグをクリックして、フィジカルデジグネータを PCB 出力と回路図用の拡張フィジカルシート(コンパイルドキュメント)に含めます。たとえば、このフラグをマルチチャンネル設計用にチェックしておく、PDF に含まれる各チャンネル用の回路図シートが一枚作成されます。

一度、**Use Physical Structure** フラグをチェックしておけば、その他のオプションも有効になります。アセンブリバリエーションを特定して、デジグネータ、ネットラベル、ポート、シートエントリ、シート番号、ドキュメント番号のパラメータについて、拡張フィジカル名を表示するかどうか選べます。



**Back** をクリックすると、ウィザードの前の画面に移ります。

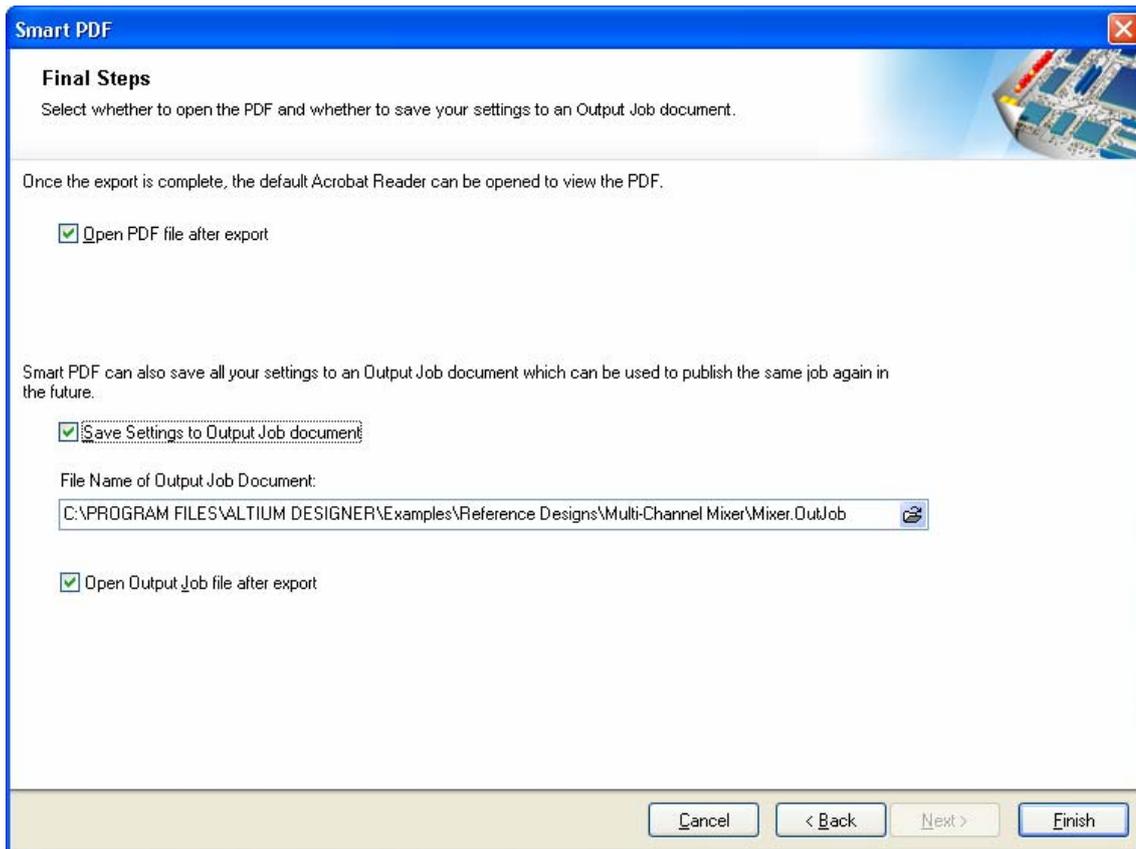
**Next** をクリックすると、ウィザードの次の画面に移ります。

コンパイルドキュメントと拡張フィジカル名(コンパイル拡張名)についての詳細は、[TR0111 Schematic Editor and Object Reference](#) を参照してください。

## 最終ステップ

いくつかの最終的なオプションを PDF の生成前に設定できます。

- **Open PDF file after export** – このフラグを有効にすると、生成された PDF がエクスポート後に開きます。
- **Save Settings to Output Job document** – このフラグを有効にすると、設定が出力ジョブファイルに保存されます。この方法で、**Smart PDF Wizard** のステップを省略し、同じ設定で、同じジョブを何度でも出力できます。
- **File Name of Output Job Document** – 出力ジョブドキュメントをパスとともに指定できます。既存の出力ジョブドキュメントの上書きか、新規作成が選べます。
- **Open Output Job file after export** – このフラグを有効にすると、出力ジョブファイルが PDF のエクスポート後に開きません。



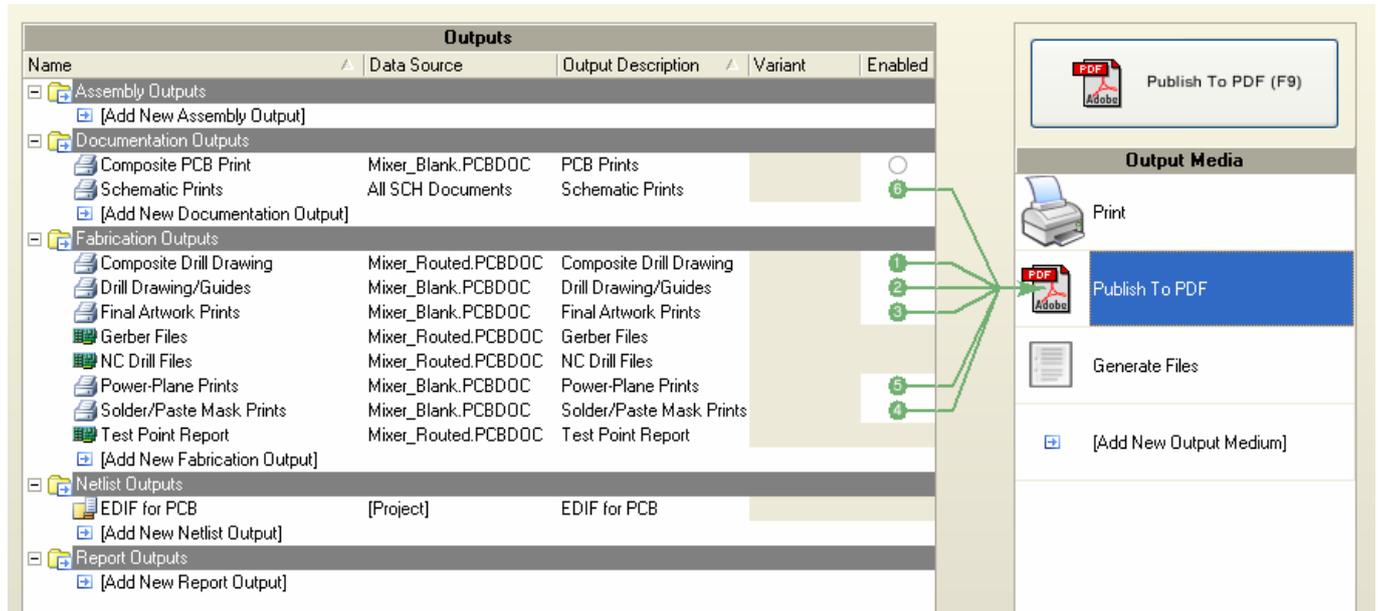
**Back** をクリックすると、ウィザードの前の画面に移ります。

**Finish** をクリックすると、エクスポートと PDF ファイルの生成に進みます。

## 出力ジョブファイルエディタ - イントロダクション

スマート PDF の設定は出力ジョブドキュメントに保存できます。アクティブなドキュメントが\*.OutJob ファイルのときに、OutputJob エディタでこのドキュメントを変更してください。回路図と PCB の出力に加えて、レポート、ネットリスト、アプリケーション出力、その他のドキュメンテーションを出力できます。

OutputJob エディタは、柔軟で強力です。印字、PDF、ファイル生成などの出力メディアを、違う出力の組み合わせであっても設定することができます。一度保存しておけば、プロジェクトファイルをアップデートしても、あとはワンクリックで出力を再構成できます。



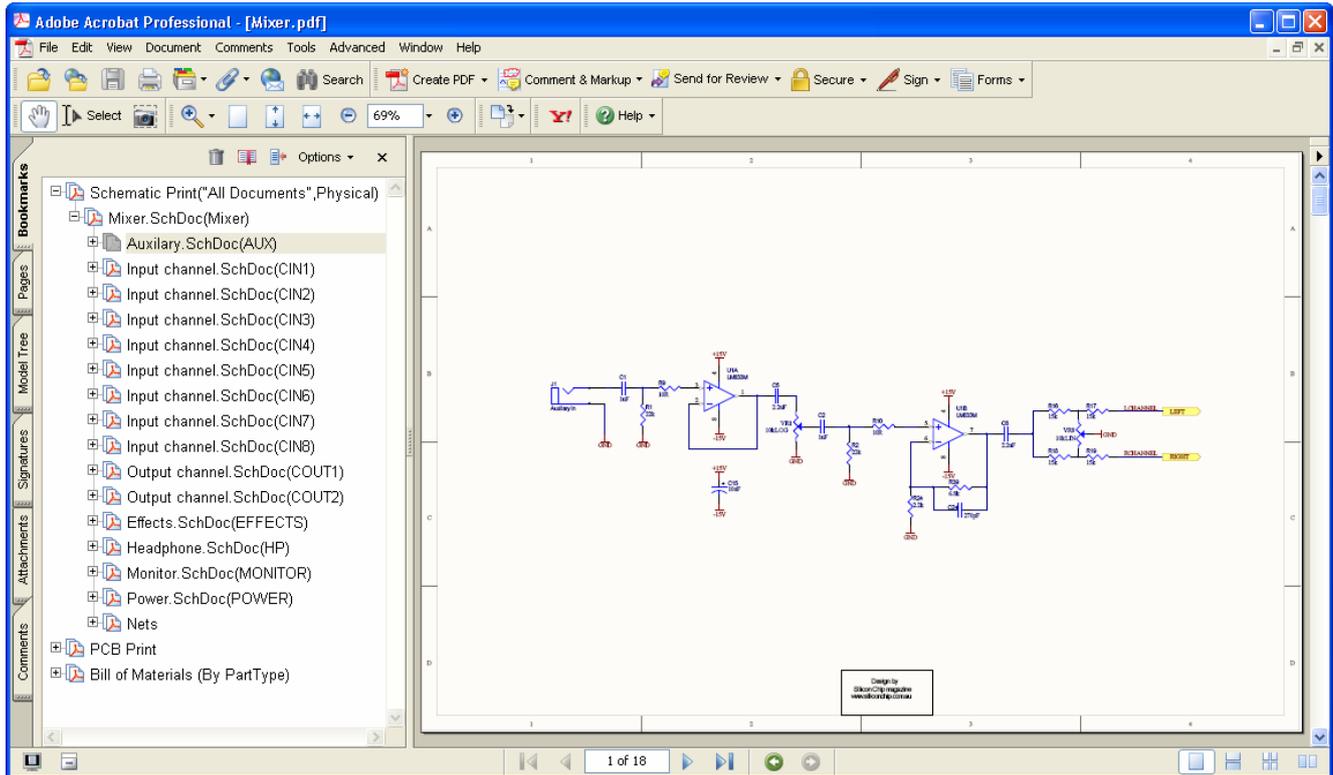
詳細については、[TR0127 OutputJob Editor Reference](#)を参照してください。

## 生成されたPDFの閲覧

生成される PDF グループドキュメントは、次のとおりです。回路図、PCB、部品表(BOM) それぞれの回路図には、設定に基づいてブックマークが提供されます。それにより、各ドキュメント、個々のコンポーネントやネットまで参照することができます。

回路図が階層構造になっていれば、その階層は PDF のブックマークに反映されます。トップレベルのシートは、一番上のレベルになり、すべてのサブシートはサブのブックマークとして現れます。エクスポートプロセスのオプションのひとつである **Use Physical Structure** を有効にすると、PDF ドキュメントに、マルチチャンネル・デザイン各チャンネルのシートが別々に出力されることとなります。

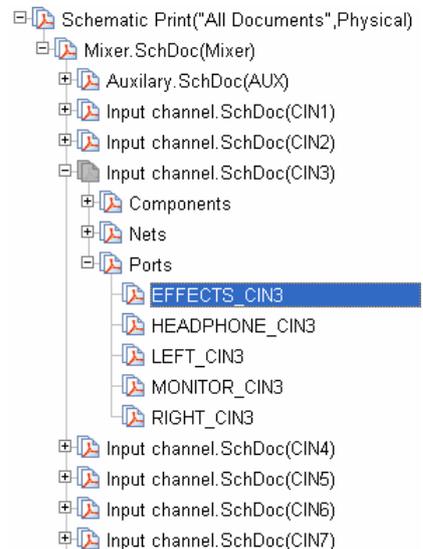
部品表では、ブックマークは各コンポーネントを閲覧できるような形で提供されます。PCB ドキュメントにおいて、ブックマークはエクスポートされたプリントアウトごとに追加されます。



Additional Bookmark の設定を有効にして、ピン、ネットラベル、ポートなどのネット情報を生成した場合は、回路図や PCB(ピンのみ)上でそれらを確認することができます。

ブックマークをクリックすると、オブジェクトが存在するドキュメントの領域がズームされます。ズーム・レベルは、Smart PDFウィザード内にあるスライダーで調節できます。これにより PDF ビューアのメインウィンドウで、そのオブジェクトが中心に表示されます。ハイライトされることで、コンポーネントやピン、ポート、ネットラベルが簡単に参照できます。

ネット情報を生成するオプションを有効にしていない場合は、コンポーネント情報しか生成 PDF 上で見られないことに注意してください。



## 注記

---

- 回路図、PCB、部品表のドキュメントだけが、スマート PDF 機能を使った PDF 形式でエクスポートされます。
- 出力の設定は、生成される OutJob ドキュメントから再構成できます。たとえば、部品表は異なるテンプレートの使用のために再構成することができ、Publish to PDF で生成できます。
- ウィザード内で定義したエクスポート・オプションは、設計プロジェクトに保存されます。

## 更新履歴

Date	Version No.	Revision
3-Nov-2005	1.0	New release
4-Mar-2008	1.1	Updated page size to A4.
19-May-2008	1.2	Updated information for the new BOM export feature and ability to save settings to the Output Job Editor.

ソフトウェア、ハードウェア、文書、および関連資料

Copyright © 2008 Altium Limited. All Rights Reserved.

以下の注意書とともに提供される文書とその情報は、様々な形による国内、海外の知的財産権の保護 - 著作権の保護 - 含むがそれに限定されない - が目的です。この注意書の閲覧者には、非独占的なライセンスが付与されており、このような文書とその情報、その使用について規定している使用特許約書（エンドユーザライセンスアグリーメント）に記載の目的のために使用することができます。

いかなる場合においても、あなたにライセンスされた文書から、あるいはその他の手段を利用して、リバースエンジニア、逆コンパイル、複製、配布、派生物の作成を行うことは、明白に規定された同意書による許諾を得ない限りできません。かかる制限事項が遵守されない場合、罰金や実刑を含む民事罰と刑事罰の対象となることがあります。しかしながら、バックアップの目的に限り、提供される文書のまたは情報を一個だけ記録に残し、オリジナルコピーが不能の場合のみ、その複製にアクセスし、利用することは許可されます。Altium、Altium Designer、Board Insight、CAMtastic、CircuitStudio、Design Explorer、DXP、Innovation Station、LiveDesign、NanoBoard、NanoTalk、OpenBus、Nexar、nVisage、P-CAD、Protel、SimCode、Situs、TASKING、Topological Autorouting、およびそれぞれに対応するロゴは、Altium Limited またはその子会社の商標または登録商標です。本書に記載されているそれ以外の登録商標や商標はそれぞれの所有者の財産であり、商標権を主張するものではありません。